

加藤清正の新田開発の評価指標

新田開発面積 16,000ha(町)

○県内に占める新田の割合

$$\frac{\text{新田面積}}{\text{県田面積}} = \frac{16,000\text{ha}}{72,300\text{ha}} = 22.1\%$$

県内の水田の2割は、清正公が造成したものである。

○新田の現在での土地換算試算

	新田面積	単価
農地換算	16,000ha	$100\text{万円}/10\text{a} = 10\text{万円/a}$
公共用地換算	16,000ha	$677\text{万円}/10\text{a} = 67.7\text{万円/a}$

新田を現在の公共用地として換算すると約1兆円に相当する。

○新田の石高換算

	新田面積	反収
400年前	16,000ha	$1.3\text{石}(200\text{kg}/150\text{kg}=1\text{石})$
現在H17	16,000ha	$3.3\text{石}(500\text{kg}/150\text{kg}=1\text{石})$

新田を石高にすれば、当時に約20万石相当となる。

○新田で現在何人分の米が生産できるか？

	新田面積	反収
生産量	16,000ha	$500\text{kg}/10\text{a} = 50\text{kg/a}$
人数	80,000t	$60\text{kg}/1\text{人} = 60\text{kg/人}$
県割合	1,333,333人	$1,858,522\text{人} = 71.7\% = 72\%$

現在1人当たり米消費量は60kg(1俵)で、新田で県内人口の約7割にあたる133万人分をまかなうことができる。

○新田での米生産額

	生産量	1両購入量	1両換算額
400年前	208,000石	$3\text{石}/\text{両}$	$10\text{万円}/\text{両} = 693,333\text{万円} = 69\text{億円}$
現在	16,000ha	$500\text{kg}/10\text{a}$	$233\text{円}/\text{kg} = 18,640,000\text{千円} = 186\text{億円}$

当時の米の生産額は年間約70億円相当になる。現在は単収が当時より2.5倍増えているので約190億円相当になる

納得：清正公は熊本之恩人